

応用講習会Ⅳ 都技 研究生 修涯

[重要なお知らせ]

1. コロナウイルス感染拡大防止目的により、参加申し込み者のみが視聴できるYouTubeの限定公開システムを用いたオンラインによるセミナー開催となります（*オンライン環境がない方は会場参加可）。
2. **本研修会は東京都保健局よりの委託事業となっております。**
つきましては受講対象者は以下の方に限ります。
 - ① 一般社団法人東京都歯科技工士会（都技）会員
 - ② 学生並びに都技メイト会員（技工学校卒業後2年度内の方）
 - ③ 東京都内在住在勤歯科技工士

[申込方法]

- ① 参加希望者は右記QRコード、もしくは東京都歯科技工士会のホームページからお申し込みください。
ホームページURL: <https://www.to-ginet.com>
- ② 上記オンライン申込をされますと登録したメールアドレスに自動返信されますのでご確認ください。
*定員になり次第締切させていただきます。



申込用QR

[LINE公式アカウント登録のお願い]

緊急連絡、変更&追加報告をスムーズにさせるために都技では試験的にLINE公式アカウントを設けましたのでLINEを使用されている方は、是非とも登録をお願い致します。



都技LINE公式
アカウントQR

[お問い合わせ]

一般社団法人 東京都歯科技工士会
〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F
e-mail: togi-info@to-ginet.com

令和3年度 応用講習会Ⅳ

オンラインセミナー

デジタル時代における 歯科技工士の役割

馬場 一美 先生 / 下山 智之 先生



Tokyo master course Science Lecture

[開催日時]
令和4年 3月27日 日

受付 12:40 開始 13:00 → 終了 17:00

オンラインセミナー

定員 80名

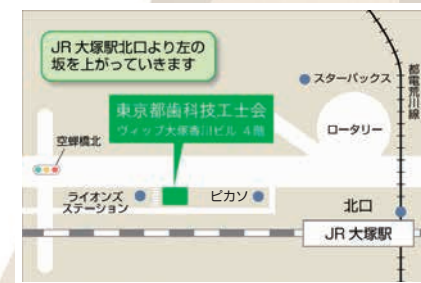
参加費 無料

会場受講

定員 10名

参加費 無料

場所 東京都歯科技工士会 研修室
東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F



一般社団法人 東京都歯科技工士会

都技
生涯
研修

デジタル時代における
歯科技工士の役割

デジタル・デンティストリーは歯科医療のワークフローを根本的に変えつつある。CAD/CAMを用いたクラウン製作過程のデジタル化はその代表例であり、ロストワックス法による従来型の歯科技工ワークフローがCAD/CAMによるデジタル・ワークフローに取って代わられようとしている。

さらに、口腔内スキャナーを用いて光学印象を行い、モノリシック材料を用いれば、模型を製作も不要となり、補綴装置製作のすべての過程をデジタルデータのやりとりで完遂できるフルデジタル・ワークフローが可能となる。こうしたワークフローの普及のために歯科技工士の担う役割は大きい。

講演ではインプラント上部構造のデジタル・デザインングのデモンストレーションも含め、最新の臨床ならびに技工ワークフローについて症例を供覧しながら解説し、デジタル・デンティストリーの今後についても考察する予定である。

■ 講師略歴



馬場 一美

[ばば かずよし]

- 1993年 東京医科歯科大学歯学部歯科補綴学第一講座 助手
 1996年 University of California, Los Angeles, School of Dentistry
 文部省在外研究員
 2002年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
 摂食機能構築学講座 講師
 2007年 昭和大学歯学部歯科補綴学講座 教授
 2013年 昭和大学歯科病院 副病院長
 2019年 昭和大学歯科病院 病院長
 2021年 日本補綴歯科学会 理事長



下山 智之

[しもやま ともゆき]

- 2015年 徳島歯科学院専門学校卒業
 2016年 鶴見大学歯学部歯科技工研修科基礎課程修了
 2017年 鶴見大学歯学部歯科技工研修科上級課程修了
 同年から 昭和大学歯科病院入職

MEMO